

平成 26 年度第 11 回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成 27 年 3 月 23 日 (月) 18 : 35 ~ 19 : 25

【場 所】 厚田保健センター 1 階 多目的ホール

【出席者】 10 名 (15 人中)

役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠
会長	佐藤 勝彦	○	委員	小山 玲子	○	委員	前田 和也	
副会長	渡邊 教円	○	委員	今 光江		委員	美馬 康子	○
委員	大黒 利勝	○	委員	柴田 志寿子	○	委員	盛重 栄司	○
委員	小笠原 英史	○	委員	柴田 肇	○	委員	築田 敏彦	○
委員	河野 すみれ		委員	高橋 敬二		委員	吉田 美香	

※正副会長を除き、あいうえお順

支 所 ~ 尾山支所長

事務局 ~ 高田課長・相原主幹・渡部主任・永澤主任・寺内主任

(地域振興課)

地域おこし協力隊 ~ 小島隊員・沼倉隊員

【傍聴者】 2名

【次 第】 1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 情報交流 (リラックス タイム)
・地域の「ちょっといい話題」交流

4. 報告事項

・

5. 協議事項

・区内各種行事等の日程取りまとめの方法について
・地域協議会の小冊子作製に向けて

6. その他

・次回会議の日程について

7. 閉会

1. 開会

高田課長： 皆さんお晩でございます。平成26年度第11回目の地域協議会を始めたいと思いますけれども、高橋委員、今委員、吉田委員、河野委員の4名から欠席の連絡を受けておりますので、報告をさせていただきます。

平成26年度第11回石狩市厚田区地域協議会を開会致します。会長から挨拶をよろしくお願い致します。

2. 会長あいさつ

佐藤会長： 皆さんお晩でございます。どんな挨拶をしようかなと思いつつながら車に乗って来たんですけども、古潭の坂をずっと下りて来る時に、また一つ、名物と言いますか、風物詩が増えた訳なんですけど、風車の所に付いているストロボの光がありますよね。あれがそういう目的で造ったかどうかは解らない訳ですけども、丁度、古潭の所の坂を下りてくる時に、下の方のストロボが先にたかさって、次にもう一個上の方がたかさるんですね。それが、空の上に伸びていくように光るんですね。あそこまで考えて造ったのかどうかは別として、丁度、そのストロボの星の光が空に向かって行っているような感じで、今日みたいな、丁度、18時ちょっと前の薄暗い時間帯に、風車そのものは見えないのですが、光だけが鮮やかに見えるというような、あれも一つ、これから厚田に増えた名物かなあ、風物かなあという風に思って、降りて参りましたというように、厚田の発見というのは、今は風車の事だったんですけども、ずっとこう何十年とあるような厚田に色んなこういう宝があるんですね。それが、長く住んでいるとなかなか解らないという、最初は凄く新鮮にそれを感じたものが5年、10年と経つ内に、それがだんだん日常になってしまって埋没してしまうという事を反省させられたのは、先週の土曜日に地域おこし協力隊の一年間の活動報告会がありました。四人の方の報告があった訳ですけども、言ってみれば新鮮なよそ者の方から見た、この厚田の魅力、宝、そういう物を色々と発見してくれているんですね。そういう事を多くの地域の人達が見たら、ああそんな素晴らしい物が地域にあるんだという再発見をさせられてしまうので、そうやって厚田って凄く魅力的な物が沢山あるという事に気付いて、更に磨きをかけていく。見慣れた風景、見慣れた風物というのが、私達の中ではもうそれは日常の普通の事になっているんですけど、新しい、或いは他所から来る人達には非常に魅力的に感じるんだという事を、私達は再度、それらを磨きをかけて厚田の宝にして、皆さんに見ていただく。前に言いました「近説遠来」と言って、地域の人達が喜んでその地域に関わり、そしてその地域で暮らしていると、それらが遠くの人達を招くという事で、より多くの人達がそこに来て集ってくれる。その為にはやっぱり、地域の素晴らしさを自らが発見していくという事を怠ると、遠くから来た人が全く魅力の無い地域になってしまうのではないかという風に今回は、この二つの事から深く考えさせられました。そういう事で、地域おこし協力隊の方の一年間の報告のお礼は、また後ほど皆さんにさせていただくという事で、今日はそれも含めて新しい発見をさせていただきましたという事です。

3. 情報交流（リラックス タイム）

4. 報告事項

- ・区内各種行事等の日程取りまとめの方法について（厚田支所 地域振興課 相原主幹から口頭説明）

- ・地域協議会の小冊子作製に向けて（厚田支所 地域振興課 相原主幹から口頭説明）

5. 協議事項

・区内各種行事等の日程取りまとめの方法について

佐藤会長： それでは区内の各種行事日程の取りまとめの方法について、相原主幹の方で説明をお願い致します。

相原主幹： 皆様こんばんは相原です。お手元の方に、スケジュールのA3版の物があると思いますが、これまでの話し合いでこういうスケジュール表が必要ではないかという事で、僕の方で取りまとめをしてみました。内容としましては、まず学校行事で土日にあるようなもので主だったものです。それから、地区のお祭り関係、ゆめ倶楽部さんとかで行なわれている「スポーツと食の体験」、「サンセットヒル」のようなイベント、そして石狩市で行なっている「まるごとフェスタ」のような行事と、社協さんで同じく行なっている「ふれあい広場」のような行事等の主だったところを拾ってみました。更に、高齢者の人も見るのでは無いかというのが念頭にあったものですから、浜益温泉のバスの送迎日、そして、皆さんの中でもそういえばと思われる方もいらっしゃるかも知れませんが、厚田中央クリニックが第3金曜日は休診しております。その辺の事も、大分浸透はしているとは思いますが、念のためここに記載してみました。正直、主だったものを拾っただけなので、もっとこれも載せた方が良いとかあると思いますので、その辺のご意見を皆さんから頂戴したいという事。それから、今回、この表を作るに当たって表題を付けておりません。その表題をどうしたら良いかという部分もありましたので、ここも皆様のご意見を頂戴したいなと思います。そして最後に、もう少しこれに追加されたりすると思うんですけど、この配布先とか配布の方法をどうしたら良いかというところも、皆様のご意見を頂戴したいと思いますのでよろしくお願い致します。

佐藤会長： それでは皆さん、その日程表をずっと4月から御覧になっていって、漏れているのがもしあったら、今、見てお気づきになった部分だけでよろしいんですけど、あっこのうのを入れたらどうかとか、そういうご指摘があれば中に入れたいと思いますので、ざっと3月まで見てください。

柴田(肇)隊員： 風の便りで、厚田歯科クリニックの診察体制が固まりつつあるのか、固まったのが解りませんがちょっと聞こえたものですから、厚田クリニックだけでは無く、歯の方もありますのでその辺を載せていただければと思います。時間の部分もちょっと調べていただいて、載せてもらった方が非常に親切かなと思います。個人の病院だからどうなのかなという部分もあるんですけどね。

佐藤会長： でもクリニックって必要ですからね。

小山委員： 浜益区の9月20日に開催する「浜益ふるさと祭り」は、厚田にはちょっと関係が無いんですけども、見に行く関係で入れたらまずいでしょうか。

佐藤会長： 石狩のお祭りは？

相原主幹： それも追加しておきますね。

佐藤会長： 小山委員良いですか。

小山委員： はい。

築田委員： 小山委員と同じ意見でしたが、貼ってもらうというところでは、この浜益温泉とクリニック休診を入れていただいたというのは、凄く良い発想だと思います。これでお年寄りなんかは、一年中楽しみに貼っておけるのではないかと思います。大きな行事を前もって貼っておく事によって、家族の人達がこの日予定をしてこっちに来るわという事も前もって出来るのではないかと思いますので、今のあきあじ祭りだとか、それからサンセットなんかも早めに解ったら良いのではないかと思います。

渡邊副会長： まず基本的にこれは全戸配布という考えなのか、それとも元々これを作った動機は、各団体が行事をする時にぶつからないように調整する為に、こういう物を作りましょうというのがまず発端だったという事で、全戸配布となると今、築田委員が言いましたようにもっともっと落とすものが、もしかしたら保健福祉の健康カレンダーみたいなもので、こんな検診があるよとかというのを落とし込んだ方が良いのか、それとも、そういう団体だけで良いのであったらどうなのかというあたりをまず整理した方が良くと思います。

佐藤会長： これどうでしょうね。

築田委員： 前回の話しの中で、全戸配布する為にどうするかという話だったかという記憶をしております。前回の議事録がお手元にあると思いますので、その中で、私の意見として言った模様ですが、「全戸配布するんであればという」話しをしたと思うんですけども、そしてそれに対する回答がありましたよね。

【協議会一同で議事録の内容を確認】

築田委員： 例えば、全戸配布する場合に、この大きさで行事によってカラー刷りをしたり、曜日によって色分けをしたりして配布をするのに、その団体だけに配布するのとでコスト面で大分変わりますか。

高田課長： やっぱり違いはあると思います。

佐藤会長： 回覧じゃ駄目ですよ。現物が自分のところないと。

築田委員： 回覧という訳にはいかないんで、全戸配布なんですよ。

佐藤会長： どうでしょうか事務局の意見は。

高田課長： 基本的に、全戸に渡せれば凄く良いなというのは解るんですけども、これを作ってキ

ツカケにするという意味でも、例えば今、自治会との絡みというのも、やっぱり街づくり、地域づくりの部分で、五連という事で、五つの自治会があるんですけども、なかなかその自治会と地域協議会の関わりがあまり上手くないような感じがあるので、逆に、今回こういうのを作って、自治会の代表の方に投げ掛けたりとかして、それをキッカケに今度、来年これを作る時には自治会の人に入ってもらったりとか、色んな展開にならないかなというの、個人的な意見なんですけどちょっと思っておりまして、これを作って全戸に配布をしてしまったら、こういう物を作ってくれたんなだというので終わってしまうんですけども、これを例えば、各自治会の会長さんとか、各団体の会長さんにお渡しして、こういう物を作りましたという事で、今後は、これを皆でもっと更に良い物にしていきたいんだという事で投げ掛けながら、ちょっと自治会を引っ張り込むような物に出来ないかなというのを個人的には思っているんですけど、答えにはなっていないかも知れませんが。

佐藤会長： これを従来通り、役所からこういう表が来たら、役所でまとめて全戸に配布されて、ああこれは便利な物を作ってくれたなというような流れにするのか、それとも、もう少し、地域の特に自治会、自治会はその下に町内会を抱えていますから、その自治会との連携でこういう物を作って、こういう物を活用して行事に参加していただけるような働き掛けをする。要するに、行事が重なったら出れないという地域のそういう事がないように、行事にはなるべく多くの人に参加出来る利便性を図る。それと同時に、行事に参加していただけるように働き掛ける。これを将来的にやっていくという事になると、この一枚の行事予定表なんだけれども、この意味合いがちょっと変わってくる。だから、将来に行事へと参加してもらう為の手掛かりとして、この行事表を作成するというプロセス。これが今、高田課長が言った自治会との関係を密接にしながら、なるべく多くの住民が行事に参加してもらえるような、働き掛けをこれから続けていくというような方向性にするのが良いのではないかという提案です。ですから、これを全戸に配ってしまうというような事はまずはしないで、まずは、この問題が起きてきたそれぞれの団体やそれからもう一つは、五連関係というか、町内会にまずは配布して、それは将来的にはこういう意図があるんだという事を明確に示して、そして次年度から五連や各団体の協力の元にこれらを作って行って、協議に参加していただくような働き掛けをするという事を議事録に残して、来年に向けてやるという事でいかがでしょうか。まとめてしまいましたが。

大黒委員： なんせかんせあれだよ。前に私が言ったのは、石高連という事で石狩の高齢者クラブの行事とぶつかってしまうので、折角、こういうスポーツもあるのに、こっちに出れないと思った訳ですけども、これは厚田区の全体のものが解れば良いのであって、ただ、この中には、文化面のフェスティバルだとかそういうのが入っておりませんけれども、まだまだこれから入ってくると思いますので、あんまりゴチャゴチャやると解らなくなりますので、その限界をきちんを抑えて、そしてやってもらえるように思います。

佐藤会長： 去年、折角のスポーツと食の体験をやった訳だけれども、所謂、老人会かなんかの行事とぶつかってしまってちょっと寂しい思いをしたので、そういうご意見が出てきたと思いますので、それではそういう配布の仕方でもよろしいでしょうか。

築田委員よろしいでしょうか。

築田委員： はい。

相原主幹： 私の方でも色々と考えまして、紙での配布だけではなく、高齢者の方が皆使えるかどうかという部分の出てるのですが、少なくとも市のホームページにはこれを載せたいと思っております。出来る範囲で更新とかもかけられればと思いますので、そこでフォローをしていきたいなと思っております。

佐藤会長： はい。それから、ここには載っていなかったけれども、各地の社協の。

相原主幹： はい失礼致しました。会長がおっしゃった通り、各地区社協で行なわれている敬老会も大体時期が決まっております。その辺りも、今回載せてはいないのですが、これを直して追加しておきたいと思っております。

佐藤会長： あとはどうでしょう。よろしいでしょうか。あとは、もし、今日の会議が終わった後に、お気付きになったところがありましたら、相原主幹の方に連絡を入れて下さい。

大黒委員： 凄く見やすく良いですね。

佐藤会長： 備考欄はどうするのか。

渡邊副会長： 備考のところは何も決まっていなくても、高齢者クラブとかで旅行の予定を何月にしていきますよとかというのが予めあれば、中旬頃というような形でも入れられるのかなと思えます。どのみちもう3月も終わりですから、今年一年揉んでみて、来年度に向けてという事で良いのではないのでしょうか。地域協議会の委員の皆さんには渡してくれますよね。

相原主幹： 少なくともお渡しします。

佐藤会長： よろしいでしょうか。そういう事で、まずは今年一年、これをやってみたいと思っておりますので、協力の方よろしくお願い致します。

・地域協議会の小冊子作製に向けて

佐藤会長： 地域協議会の小冊子の作製に向けてという事で、これも相原主幹からお願い致します。

相原主幹： 引き続きA4の「地域協議会小冊子 発行スケジュール(案)」というのが、皆さんのお手元にあると思っておりますので、一度ご覧下さい。こちらの方は、9月の第6回の地域協議会で話されました小冊子の作製について、ここに書いている通り発行したいと考えておまして、予算要求を今しておまして、議決が明日の予定でありますが、一応、予定としては1,200冊、総ページ数30ページ程度を想定しております。この1,200冊の基礎としまして、2月末現在の厚田の世帯数が1,111世帯という事で、およそ1,200冊で予算要求をしておまして、それで作製したいと思います。内容については、堅苦しい文章では無く、

中学生が読んでも、ああそういうのがあるんだと解っていただけるような、文章表現にしたいと考えております。3番目のスケジュールですが、来年度は、地域協議会の委員の皆さんの改選時期を迎えると思いますので、それを鑑みまして9月迄に皆さんの方へ提示をして、構成まで終わって、後は印刷をかけるだけという事で、出来れば印刷迄も行ないたい訳ですが、少し余裕を持たせてという事で考えております。そうなりますと、10月中の発行、若しくは9月中の発行になるのかなと思うのですが、一応、目処として新規の役員さんへの引渡しを考えると、10月の下旬というのを目標にしております。それから逆算をしてスケジュールを考えた時に、大よそ、こんな感じになるのかなという予想をしております。今回、皆様の方にスケジュールの内容とそれから作成に当たって、どんな形で内容を固めていけば良いかというところのご意見をいただきたいなと思っておりますので、よろしくお願い致します。

佐藤会長：

それでは今、説明のありましたように9月26日の第6回地域協議会で皆さんに議論していただきまして、この10年の歩みとそれから、この地域協議会はどういう風な活動をして、地域を元気にしていくかという事を含めてこの冊子を発行するという事は良い事だろうという事で、皆さんの賛成、賛同を得られました。中身や目的や内容やスケジュールについては、今後、具体的に検討をしていくという事になっておりました。今、相原主幹の方から説明のありましたように、大体、こういうスケジュールで行なっていきたいという事であります。問題は、発行する日程がほぼ決まっておりますというのは、この皆さんで、大体、素案と言いますか、構想を作って、それを具体的に検討をして冊子にする訳ですから、これは結構作業があるんですね。月一回の地域協議会の中でその作業を行なっていくと、十分に検討をされないままに作られてしまうという事がありますので、結構大変だなと思っております。皆さんと議論をしていくのは基本的な構想の段階を議論して、後は、そういう部会みたいな、作成委員会みたいなところに委ねて、逐次、この地域協議会に報告していただくというような事にしてはどうかと個人的には考えているのですが、そういう事も含めて皆さん達のご意見をいただきたいなと思っております。スケジュール的には、大体、ゴールが決まっておりますので、それで進めていきたいと思っておりますので、中身についてとか、どのようなページ数のという事で、大体30ページ程度ですからそんなに詳しくは載せられないとは思いますが、ただ、目的は明確にしておかなければならないだろうと思っておりますので、その辺りの検討も必要かなと思っております。前回の第6回地域協議の時に皆さんからご意見をいただき、盛重委員からこの冊子を全戸に配布するという冊子の目的について、大よそ三つのパターンに分かれるだろうというご意見がございました。まず、第一点目は、地域協議会が今まで行なってきた事、それからこれから行なおうとしている事、これを区民に周知するという目的が一つ考えられるだろうというのと、二つ目は、例えば、地域協議会というのはいまもう15年という事で、今のところ大体決まっているんですね。10年が5年間延期されましたので、その後は無いものですから、実はこの地域協議会が行なってきた色々なデータと言いましょか、そういうものを集積して、次のこれに代わるような団体に受け継いでいってもらいたいという為のそういうデータの集積が目的なのか、三つ目としては、海士町の例を挙げまして、これらを対外的に厚田区の地域協議会で行ってきたものが、地域おこしに有効に活用、働くであろうというような貴重な資料という意味合い。これら三つの目的のいずれを冊子の中に込めるのかというの、議論しなければというご提案がありました。ですから、そういう意味では、これをどの辺りの目的に絞り込んでいくかという事。それからその為、内容をどうしていくのかという事、

それからここに書かれていますように、全戸に配布するんですから、文章の言い回し、それからそこで使う漢字も含めまして、大体、中学校の1、2年生を対象にしたような書き方に当然していかないとならないだろうというような事も含めまして、大枠ですけれども、そういう検討をちょっとしていかなければならないだろうという風に考えております。その為には、幾つかの原案と言いますか、素案を提示して議論していただきたいと思いますので、次回の時までこの目的、幾つかの目的がある訳ですけれども、どれに絞り込んでいくか、その為にはその内容をこれだけ沢山あるのですが、そのどれに絞っていくかというご提案を次にしたいと思いますので、今回は、これらの目的、内容、それから具体的な方法についてのご検討をいただいて、大体、地域協議会としての構想を次回で大体まとめたいと思います。これがまず第一点です。

第二点は、その構想に基づいて、どういう組織体で冊子を作っていくかという事もご検討いただきたいと思います。その為に、渡邊副会長どんな分科会が良いかなという意見を。

渡邊副会長： 地域協議会に入ってそんなに経っておりませんが、やっぱり初期の頃の方達も、もし、可能であれば作成委員会の中に入っていただいて、一緒に作り上げていく方がと思いい、何名が適当かというのは解りませんが、今のメンバーというか、今の委員だけで作るというよりも良いのかなと思ったりもしているんですけども、いかがでしょうか。

佐藤会長： というご意見もございますので、その辺りもちょっと考えてきていただいて、構成をどういう風にしたら良いかな。今言ったように、一期から大体、1、2名程度入っていただいて作成委員会を構成した方が良いのではないかとか、或いは、今回のこの第5期の委員の中で、長く地域協議会の委員を務めている人達で少し検討して具体化していったら良いのではないかとかあると思いますので、その辺りも含めてちょっとお考えいただければと思います。

具体的な検討については次回で良いですね。

相原主幹： はい。

佐藤会長： なるべく次回でまとめて、後は、作成委員会の方に渡して、その進行状況を含めて、毎回の地域協議会で報告をしていただく、そして委員の方々のご意見をいただいて、また次のステップにいていただくというような考えをもっておりますので、よろしいでしょうか。

相原主幹： スケジュールの表題のところの確認をするのを忘れておまして、良いアイデアがあればと思おまして。

佐藤会長： この行事予定表なんですけれども、その表題に何て付ければ良いかという事ですね。

相原主幹： 硬い表現が良いのか。

佐藤会長： だって行事予定は行事予定ですよ。

渡邊副会長： 厚田区のカレンダーとか？

佐藤会長： 厚田区行事予定表じゃ駄目？

相原主幹： 全然良いです。

佐藤会長： みなさんどうでしょう。

盛重委員： こよみ厚田。

佐藤会長： こよみ厚田？

相原主幹： こよみは漢字でしょうか？

盛重委員： ひらかなでお願いします。特にこだわりはありませんけど。

佐藤会長： 厚田こよみ？こよみ厚田？

盛重委員： どちらでも。

渡邊副会長： 良いのではないのでしょうか。

佐藤会長： 渡邊副会長が良いのではないのでしょうかとっております。

相原主幹： ありがとうございます。

6. その他

次回会議等の日程について

平成27年4月28日（火） 18:30 ～ 望来コミセン みなくる

7. 閉会

平成27年4月28日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会
会長 佐藤 勝彦